

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2012年9月号 (No. 45)

平井会計事務所 税理士 平井満広  
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1  
芝浦アイランドエアタワー1704号  
電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350  
Mail:m\_hirai@hirai-ao.com  
URL:http://www.hirai-ao.com/

## 異変を感じたらすぐにチェック！粗利率が下がる原因

商売は黒字にすることが大切ですが、いつも順調に利益が出るとは限りません。とくに卸売業や製造業では商品によって、短時間で粗利率が著しく変動することがよくあります。対策が遅れて損害が大きくならないように、早期に原因を突き止めて改善に取り組む必要があります。そこで今回は、粗利率が下がる原因をご紹介します。

### ◆粗利率が下がった原因をチェック

#### (1)「売値のチェック」

月次試算表の粗利率が著しく低くなったときは最初に売値の変化を調べましょう。可能であれば、直前3ヶ月の商品別・得意先別の売値を調べて計算します。おかしいと思う点があるときは、自社が発行した請求書の単価が見積書と一致しているかも一つずつ丁寧に調べましょう。このチェックをすれば営業担当が無断で値下げ販売をしていないか確認できます。データ管理が不十分で計算が難しいときは、平均売値でチェックしても構いません。



#### (2)「仕入値のチェック」

売値をチェックしても原因が分からなければ次に仕入値の変化を調べます。売値と同じく直前3ヶ月の商品別・仕入先別の仕入値を計算します。おかしいときは仕入先が発行した請求書の単価が見積書と一致しているかを調べます。このチェックをすれば仕入先が無断で仕入値を値上げしていないか、約束した値引きを忘れていないか、といったことを確認できます。データの管理が不十分であれば、平均仕入値でチェックしても構いません。

#### (3)「在庫のチェック」

売値や仕入値をチェックしても原因が分からなければ、価格の問題ではなく数量に問題がある可能性があります。購入した商品が、きちんと出荷 or 在庫として認識できているか調べます。具体的には、仕入先が発行した請求書の数量と自社が発行した請求書の数量とを比較し、差額が在庫の増減と一致しているかを、商品別に調べます。差額と増減が一致しないときは次の原因が考えられます。

#### ①カウントしていない在庫がある

在庫の集計もれがある可能性があります。数え間違いやもれがないか再度、確認しましょう。「1ケースを1個とカウントしてしまう」といった単位の間違いいにも注意が必要です。また他の保管場所がないか確認しましょう。仕入先に在庫を預けている場合は集計もれになりやすいようです。

#### ②無断で在庫を廃棄している

集計もれが原因でない場合は、現場担当が会社が無断で在庫を廃棄している可能性も考えられます。販売予測を見誤って商品を過剰に発注してしまい在庫が滞留している場合などは、問題が発覚するのを恐れた現場担当が、黙って商品を捨ててしまうことがあります。本人に確認するとともに、処分業者への支払いが増えていないかも確認しましょう。

#### ③得意先に対する請求もれがある

出荷したにもかかわらず請求をしていない販売額がある可能性があります。イレギュラーの受注などが請求もれになっていないか請求書を確認しましょう。なお、現場担当と得意先が結託して商品を不正に横流ししていないかも、ここで確認することができます。

#### ④仕入先から過大に請求されている

モノが入荷されていないにもかかわらず仕入先から請求されている可能性があります。発注のキャンセルや返品がきちんと反映されているか仕入先に確認しましょう。なお③と同じように、現場担当と仕入先とが結託して商品の不正横流しや架空仕入によるキックバックなどをしていないかも、ここで確認することができます。

#### (4)「歩留のチェック」

製造業の場合は、歩留が悪化している可能性があります。原材料の入荷量と完成品の生産量との比率を調べてみましょう。原料の品質不良や設備の不備などが発生しているかもしれません。



※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせていただきます。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒[http://blog.goo.ne.jp/hirai\\_tax/](http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/)